

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チームごちゃまぜきっず(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		2025年 12月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 0名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 4日		2025年 12月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士、5年以上の実務経験のある保育士、児童指導員を配置しており様々な訓練を提供する事ができていると思います。	観察所見等を通して課題となる点を把握し、個々のお子様の特性や発達段階に応じた活動内容や課題設定を日々検討しています。 検討した内容については職員間で共有を行い、支援の統一を図るとともに、個別支援計画へ適切に反映できるよう努めています。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。
2	・広いグラウンドや訓練室でのびのびと活動する事ができます。 ・室内にスウィング(感覚統合遊具)を設置しています。	お子様のその日の体調や状況に合わせて、活動する場所や空間を考え、お一人お一人が安心して活動できるようにしています。	今後も現在の取り組みを継続しながら、支援の充実を図りたいと思います。
3	室内はバリアフリーになっており、安全に活動する事ができます。	個々に合わせた取り組みが出来るよう、個別的配慮や支援を行っています。	日々の活動やあそびの中に、自立に向けた活動を取り入れて楽しく学べるよう、工夫しながら療育を行ってまいります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々と交流する機会を十分に設けることができていません。	・利用日数や、利用時間が限られている為地域の方と交流する機会がもてませんでした。	事業所は地域交流センター内に設置されているため、交流センター利用者の方々と交流できる機会を持てるよう検討していきます。
2	保護者様同士が交流する機会を設ける事ができていません。	以前は保護者様にも参加していただけるイベントを開催していましたが、コロナ禍以降実施出来ていません。	・法人の家族会(宮友会)について、今後積極的に周知していきます。 ・2026年度は事業所独自での保護者様同士が交流できるイベントを立案したいと思います。
3	非常時等の訓練の実施について、保護者様に十分に認知されていませんでした。	訓練実施時には、おたより等で写真を添えて周知し、事業所入り口には、毎月のお便りを掲示していますが、それ以外のツールでの発信はできていませんでした。	・現在の取り組みと併せて、SNSでの発信も実施していきます。